

外国語を学ぶ・教える ——留学体験記

私のフランス留学

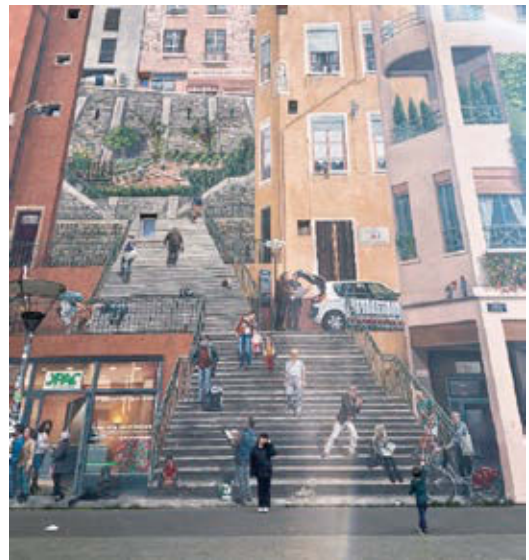
国際コミュニケーション学部4年
濱島 知寿

2023年2月、私は大学2年次の春休みを利用して、一ヶ月間フランスのリヨンに語学留学をしました。英語専攻の私がフランスを選んだ理由はいくつかありますが、一つは第2外国語として仏語を学習し始め、言語だけでなく文化にも興味を持ったからです。ここでは英語圏ではない国への語学留学で私が経験し、感じたことを率直に紹介したいと思います。

現地ではホームステイをし、メトロとトラム（路面電車）を使って語学学校に通いました。一ヶ月という短期間での語学修得には限度があると思いますが、その中でも私が仏語を伸ばすことが出来たのは、ホームステイが大きく影響したと感じています。大学とは異なり、語学学校は言語を学ぶ場所なので、ネイティブスピーカーは先生のみです。クラスメイト全員仏語が流暢に話せるわけではないので、共通言語は英語になり、授業以外では英語を使うことがほとんどでした。また、レストランやパン屋では見た目外国人と判断され、英語で話しかけられることもありましたが、私のホームステイ先はマダムが一人で暮らすお宅で、勿論英語は使いません。またフランスでは食事をしながら会話を楽しむ文化があり、彼女と1対1で毎晩たくさん会話を交わしました。（ちなみにフランスの夕食は八時頃から始まり、会話をしながら食事を取るため一時間ほどかかります）この

ように毎日過ごし、学校では座学を、家では会話を積み重ねていき、気が付くと寮などに住む他の友人よりも仏語力をあげることが出来ました。

近年SNSの発達により日本人英語学習者向けのコンテンツはたくさんあり、簡単に日常表現や文化的側面も日本で学ぶことが出来ます。仏語はそれが難しいと感じたことも私の留学理由の一つです。言語学習において留学は必須ではないですが、特に英語以外の言語に興味がある方は、ぜひその国へ一歩足を踏み入れてみてください。あなたがその言語や国の開拓者になるかも知れません。



リヨンの有名な壁画